

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	57,697千円	54,484千円	56,666千円	0千円
	総人件費	15,201千円	15,137千円	15,150千円	
	総事業コスト	72,898千円	69,621千円	71,816千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	豊里ゆかりの森	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	11	11	ゆかりの森施設管理運営に要する経費

事務事業名	01	ゆかりの森管理運営事業	指標名	工芸館・宿舍あかまつ・昆虫館・バーベキュー場等利用者数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	工芸館・宿舍あかまつ・昆虫館・バーベキュー場等利用者数を月別に集計し年間利用者数を積み上げる。			
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度	
					60,000人	60,000人	65,000人	65,000人	65,000人			65,000人	65,000人	
総合戦略	-	-	-	-	実績	63,403人	67,480人	67,666人				その他の指標	-	
					H28年度				H29年度					
個別計画	-	-	-	-	改善目標	来訪者を増やすためのサービス向上と計画的な修繕計画の作成。28年度より夏休み期間に宿舍あかまつとキャンプ場を無休で開館する。				改善目標	平成27年度作成の「ゆかりの森施設改修計画(H.28～37)」に沿った事業の展開を行う。また、来訪者を増やすための新たなサービス内容を取り入れる。			
根拠法令等	つくば市豊里ゆかりの森条例				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャガイモ掘り、さつまいも掘り、いも煮会、そば打ち、陶芸等の体験事業</li> <li>ガーデニング、そば打ち、陶芸、バランス体操、ケーナ教室及び昆虫の自然史講座の開催</li> <li>下水道排水設備工事</li> <li>アスレチック遊具改修工事</li> </ul>				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャガイモ掘り、サツマイモ掘り、いも煮会、そば打ち、陶芸等の体験事業</li> <li>ガーデニング、そば打ち、陶芸、バランス体操、ストレッチ体操及び昆虫の自然史講座の開催</li> <li>宿舍あかまつ外壁改修塗装設計業務委託</li> <li>スペースキャビン自動火災報知設備設置工事</li> <li>アスレチック改修工事</li> <li>省エネ設備(LED照明)改修工事</li> </ul>			
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	里山の環境整備として、枯れ木の伐採や撤去、平地林の下草刈りを実施して環境保全に努めた。体験学習は、6月にジャガイモ掘り、10月にサツマイモ掘り、11月にいも煮会のほか、そば打ちや陶芸体験も随時行い、夏休みには昆虫の自然史講座も開催した。下水道排水設備工事では、各施設(宿舍あかまつ、昆虫館、工芸館、管理棟)の利用状況により工事スケジュールを調整して進めた。また、今年度から、夏休み期間に限り休館日を無くして運営し、建物の老朽化対策においては、宿舍あかまつの老朽度調査を実施した。				上半期活動実績	-			
執行体制	一部委託				成果	下草刈りや枯れ木の撤去を行なったことにより、里山としての環境保全に努めることができ、利用者に快適な場を提供できた。夏休み期間において休館日を無くしたが、混乱もなく運営でき、結果として100名強の宿泊者が増え、来訪者を増やすためのサービス向上につなげることができた。				上半期成果	-			
事業の目的	周辺の地域資源を含めた豊かな田園環境と連携した事業を実施していくとともに、施設の充実を図り体験・滞在型余暇施設活動の場を提供する。				課題	建物の老朽化対策として施設修繕を計画的に行うと同時に、来訪者を増やすためのサービス内容を検討する。(他自治体等の類似施設(民間宿泊施設含む)の事例も取り入れて改めて検討する。)				課題	-			
事業の概要	敷地内平地林の自然環境保全に努め、里山の自然公園として活用し併設している宿舍「あかまつ」・工芸館・昆虫館・キャンプサイト・バーベキュー場・テニスコート等の施設の充実及び管理運営を行い、体験・滞在型余暇施設活動の場として環境づくりを推進する。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		理由			
	H29環境関連性	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		H30年度の方向性	-	理由	-
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-					